



## 両津市郷土博物館

RYO-TUSHI  
KYO-DOHAKUBUTUKANN



### ご案内

—開館—  
AM9:00~PM4:30

—入館料—  
●大 人…300円 ●小・中学生…100円  
団体(15名以上)  
●大 人…240円 ●小・中学生…80円

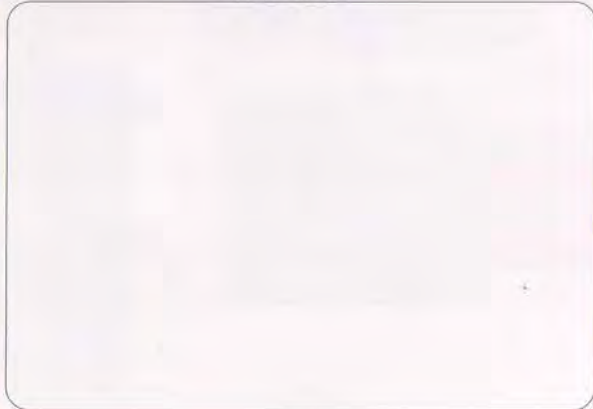
—交通—  
■両津市街から車で20分  
■バス佐渡空港線 佐渡空港下車 徒歩15分

—所在地—  
〒952-0021 新潟県両津市大字秋津1596番地  
TEL (0259) 23-2100 FAX (0259) 23-4820

### —MAP—



### —記念スタンプ—



●加茂湖

森と湖にかこまれた、  
両津市郷土博物館。

両津市街から車を走らせて20分。みずみずしい緑と爽やかなブルーの湖をしたがえてたたずむライトブラウンのミュージアム。自然の優しいぬくもりにつつまれた両津市郷土博物館のテーマは「海」「くらしと木」そして「祭」。それぞれゆつたりとしたスペースに各方面から集められた資料がのびのびと示されています。また、見るだけでなく実際に触ったり動かしたりして楽しむコーナーも設けました。歴史が織りなす佐渡特有の文化を両津市郷土博物館でじっくりと味わってください。



# 両津市郷土博物館は大きな百科事典。次々とページをめくってみよう。

## 第1展示室

### 海からの恵み (国指定重要有形民俗文化財)

加茂湖と両津湾の漁業、両津湾の揚浜塩田

島の生活において、海との関わりははかりしれないものがあります。海はそこに住む人びとの生活の手段であり、文化を伝える重要な海道でもありました。島の風土の中から生まれた文化をさまざまな民俗資料で展示し、特に両津湾を中心とした漁業の様子は実際に使われていたものを資料として展示してあります。



●第1展示室

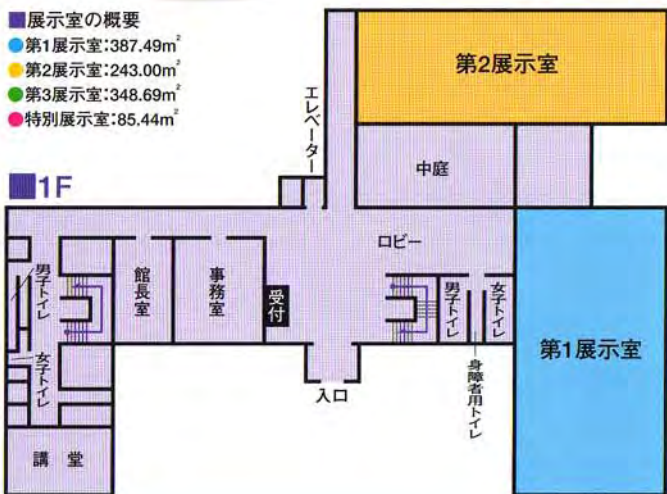
●タコツボ

●塩浜用ウチオケ

●北佐渡の漁撈用具

#### ■展示室の概要

- 第1展示室:387.49m<sup>2</sup>
- 第2展示室:243.00m<sup>2</sup>
- 第3展示室:348.69m<sup>2</sup>
- 特別展示室:85.44m<sup>2</sup>



## 第2展示室

### 木と生活

伝統木工品と職人、佐渡の竹細工

人々の暮らしの中で、木や竹はどのように貢献してきたのでしょうか。とりわけ、竹は佐渡の特産として現在でもかなりの需要を占めています。さまざまな形に加工され、道具として生活には欠かせない存在の木と竹。この展示室では“割る”“塗る”“組む”“曲げる”“挽く”などのコーナーに分けてわかりやすく構成してみました。入口に入って右手にある原木当てるジグソーパズルにもぜひ挑戦してみてください。



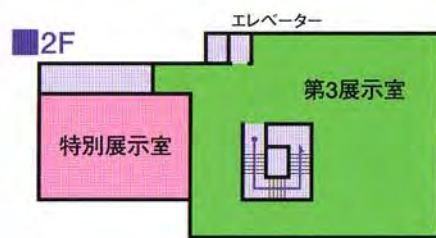
●第2展示室

●いろいろな桶・樽

●カタクチ

●ヨコツチ

●職人の用具



●船揚用の滑車

## 第3展示室

### 巡りくる節の理 (ことわり)

信仰と芸能、村の祭りと年中行事

佐渡に能舞台が33も残されているのをご存じですか。佐渡は「文化の吹きだまり」といわれ、いろんな地方からたどり着いたさまざまな文化を吸収し、独特の佐渡文化をつくりあげました。しかも立派に守り続け、次の世代にしっかりと受け継がれています。展示されている資料の中には現在もなお使われている道具も少なくありません。国の重要無形文化財に指定されている文弥人形をはじめ、素晴らしい佐渡文化に心ゆくまで触れてみてください。



●村の年中行事

●島の祭り

## 特別展示室

### 短期間の特別企画展示

目と手で、たっぷり触ってみよう。

鑑賞する機会の少ない美術作品や文化財などの展示、グループやサークル活動の作品発表の場として利用できるスペースです。また、博物館への理解をより深めてもらうために、学校や公民館への巡回展示や体験教室なども企画しています。



●直径3mの味噌桶

●体験コーナー

●特別展示室

●パラマボード